サービスロゴWGのご紹介

2009年10月19日

IPv4 アドレス枯渇対応タスクフォース
サービスロゴ Working Group　主査
寺田　昭彦

目次

1. サービスロゴ WGの概要

2. サービスロゴ WGの活動状況

2.1. IPv6 Enabled Logoへの対応
2.2. 総務省のIPv6によるインターネットの利用高度化に関する研究会への対応
2.3. 日本語翻訳サイトの立上げ

3.まとめ及び今後の活動

サービスロゴWGの概要

- 主査： 寺田 (JATE)、 副主査： 菅沼 (電算)
- 事務局： JATE
- 本年1月にWG発足
- 毎月1～2回のペースで会合
- メンバー： 通信事業者、ISP、iDC、SIer、ベンダー、など
- 参加はオープン (ASP、CSPの参加を希望)
- ミッション： “IPv6に対応しているサービス”にロゴを付け、IPv6の利用促進を図る
- 活動：
  1. 国際活動 IPv6 Enabled Logo Programへの提案
  2. 国内活動
     (1) 総務省 研究会との連携
     (2) 国内へのサービスロゴの普及活動

IPv6 Enabled Logo Program

≪IPv6 Enabled Programとは≫

- “IPv6に対応しているサービス”にロゴを付け、IPv6の利用促進を図ることを目的
- 基本はサービスを自己確認して、登録する仕組み
- 継続してIPv6に対応していることを確認するための統一的な仕組みを持っている
- WWWとISPからスタート(2009年6月）し、順次拡大予定
- Programの推進のために、IPv6 Forumは、IPv6 enabled Steering Groupを作った。

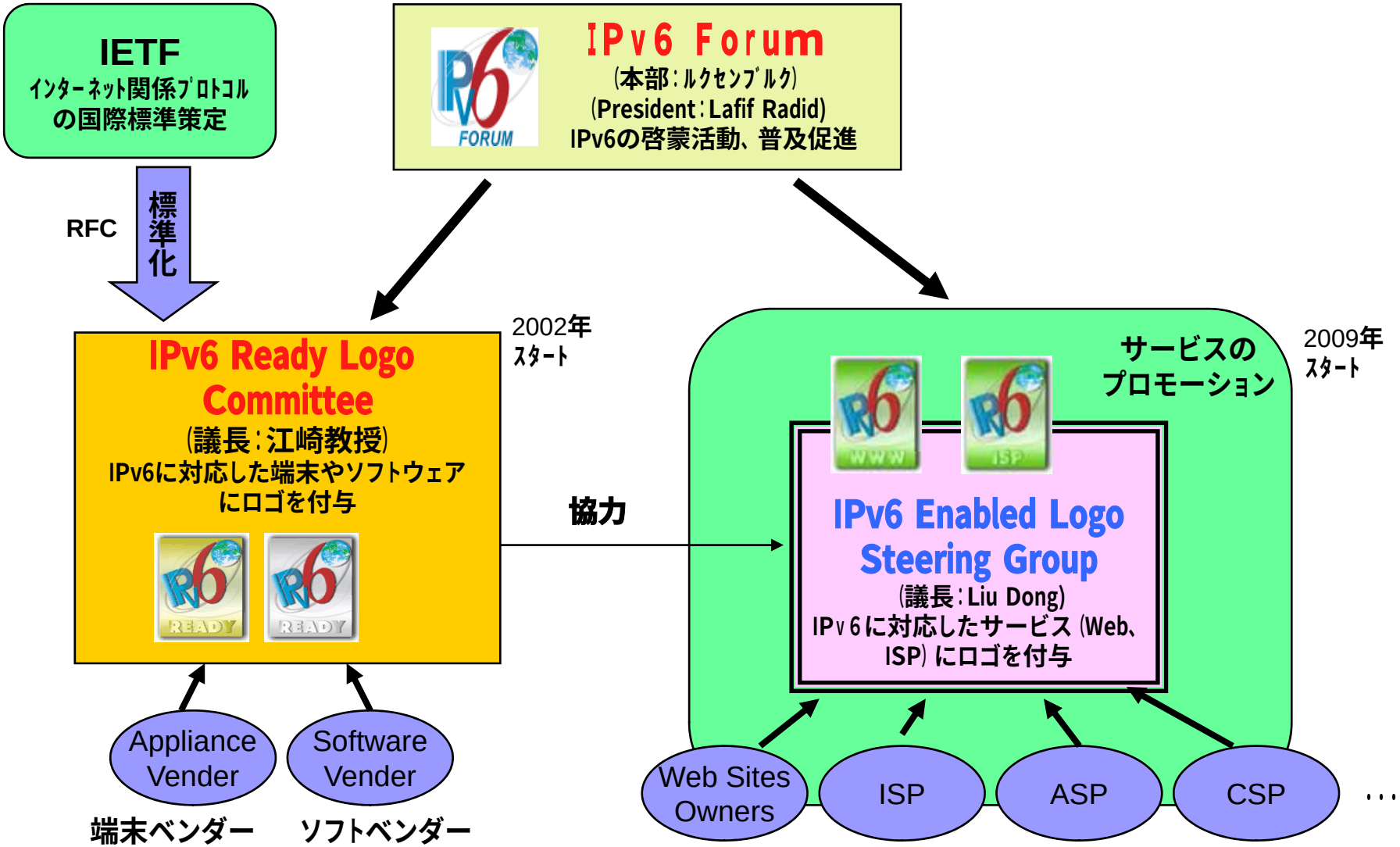
≪ロゴマーク≫

–http://www.ipv6forum.com/ipv6_enabled/ を参照。

Webﾍﾟｰｼﾞのロゴ

ISPｻｰﾋﾞｽのロゴ

IPv6 Forum における Enabled Logo Programの位置付け



http://www.ipv6forum.com/ipv6_enabled/

6 Enabled Main Page

IPv6 Enabled Program

------New Service

HOME WWW ISP CONTACT

IPv6 Enabled Program

The IPv6 Forum IPv6 Enabled Logo program objective is to accelerate deployment of IPv6. The goal of this program is to increase user confidence by demonstrating that IPv6 is available now and is ready to be used.

The IPv6 Enabled Logo program consists of two logo sub-programs: the IPv6 Enabled WWW Logo Program and the IPv6 Enabled ISP Logo Program.

The IPv6 Enabled WWW Logo Program is the first one to be released. Its objective is to encourage adoption of IPv6 on the millions of web sites (WWW) at enterprises, Internet Service Providers (ISPs) and private users helping them to test and check their proper IPv6 readiness and adoption.

NEW! Internet Evangelist promotes IPv6 to the Web World!

Test your IPv6 connection via the IPv6 Forum Test IPv6

IPv6 Enabled ProgramのWebサイト

IPv6 Enabled WWW Logo

The IPv6 Enabled WWW Logo Program integrates two levels: basic and advanced.

IPv6 Enabled ISP Logo

The IPv6 Enabled ISP Logo Program integrates two levels: basic and advanced.

WWW Logoの使用例

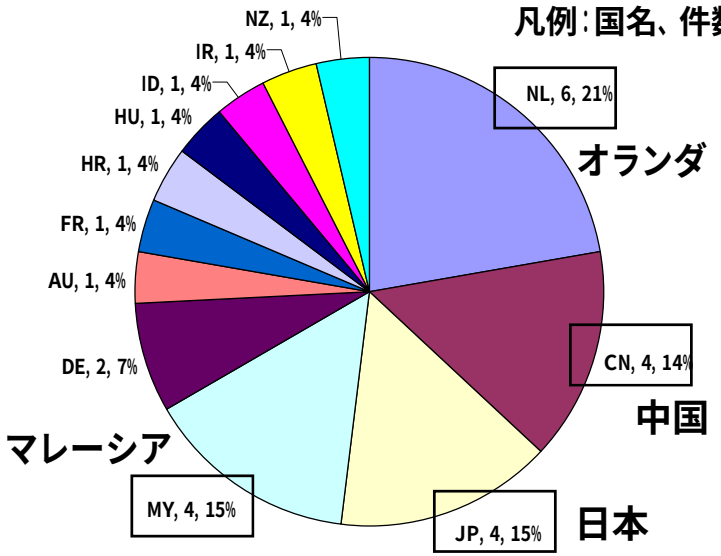
＜参考：登録状況＞

ISPロゴ（国別）

ISPロゴ登録状況

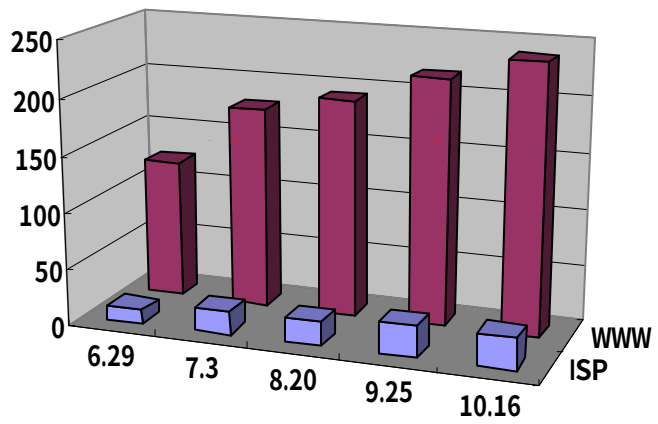
Total:28

凡例：国名、件数、%



2009.10.16現在

Enabled Logoの伸び

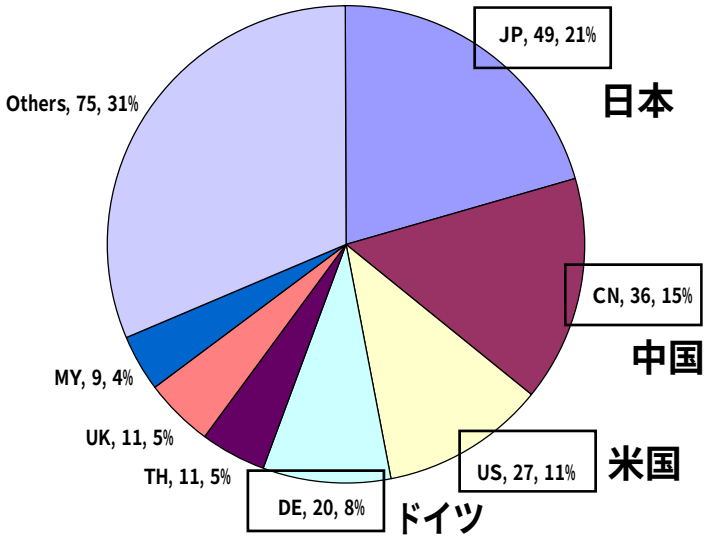


WWWロゴ（国別）

WWWロゴ　国別登録状況

Total:238

凡例：国名、件数、%

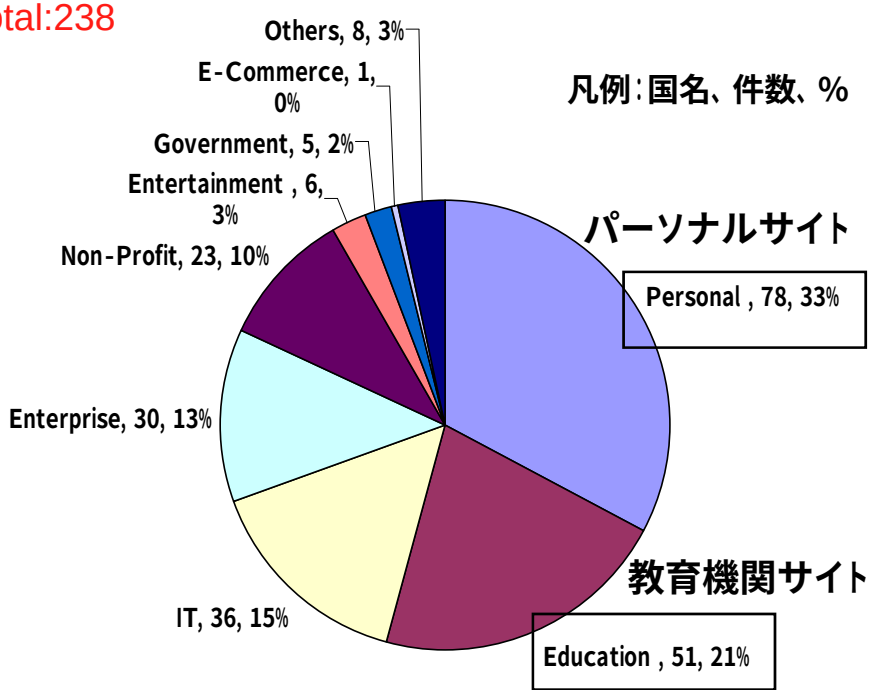


WWWロゴ（用途別）

WWWロゴ　Tag別登録状況

Total:238

凡例：国名、件数、%



IPv6によるｲﾝﾀｰﾈｯﾄの利用高度化に関する研究会

- 総務省　総合通信基盤局長の研究会
- IPv4アドレス枯渇対応の促進とIPv6移行の促進に関して、行政を含む各種の関係者が取り組むべき具体策について検討

(サービスロゴについて)

- IPv6の利用促進のためには、”利用しようとしているサービスがIPv6に対応しているか”という情報を容易に得られることが求められるため、サービスに貼付するサービスロゴが必要

- IPv6対応サービスが最低限満たすべき基準について、IPv6 Enabled Logo Programの動きを考慮に入れながら、「IPv6サービス基本指針」を策定し、2009年7月に公表

IPv6 Enabled Program と IPv6サービス基本指針の違い

- サービスロゴWGでは、国際（IPv6 Enabled Logo Program）と国内（IPv6サービス基本指針）の2つの規格について比較を実施
- 時期の違いに伴う大きな差は発生していないことを確認

- 総務省の研究会でも、日本としてIPv6 Enabled Logo Programを普及していくこととなった

IPv6 Enabled Logoの日本語翻訳サイトの立上

- 総務省の研究会の中で、IPv6 Enabled Logoの普及に当たっては、JATEを中心に行うこととなった
  【理由】
  ①2008年4月より日本IPv6認証センターを開設し、IPv6 Ready Logoの審査業務を実施してきていること
  ②IPv6 Forumとも覚書を締結し、協力関係を持っていること。

- JATEは、9月より、英文でしか提供されていなかったホームページを日本語化して解説情報とともに提供するサービスを開始
  http://ipv6ready.jate.or.jp/enabled/

- このサイトでは、翻訳情報の他、登録の方法や総務省の基本指針でより細かく規定されている事項などの解説情報を掲載

- 今後、日本語での問い合わせ対応も開始する予定

.168.10.250/test/ipv6_enabled_index.php

お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

検索 ブックマーク チェック 翻訳 オートフィル

www.nttdocomo.co.jp/... IPv6 Enabled Program翻...

JATE 財団法人 電気通信端末機器審査協会
Japan Approvals Institute for Telecommunications Equipment

IPv6 Enabled Program

IPv6 Enabled Program の翻訳サイト

Menu

- Home
- 日本IPv6認証センター
  - お知らせ
  - ロゴ取得の手続き
  - 日本語お問い合わせ
  - FAQ
  - リンク
- IPv6テスティング・ラボ NEW
  - お知らせ
  - ご利用案内
  - お問い合わせ
- IPv6 Ready Logo翻訳情報
  - お知らせ・新着情報

IPv6 Enabled Program翻訳情報

このページでは国際的なプログラムである "IPv6 Enabled Program" に関する情報を、JATEが独自に日本語化を行い、日本国内向けに発信しています。

IPv6 Enabled Programとは

IPv6 ForumのIPv6 Enabled Logo Programの目的はIPv6の導入を加速することです。

IPv6 Enabled Logo Programは、IPv6が現在利用可能なこと、または利用可能状態にあることを示すことにより、ユーザーの信頼性を高めることを目標としています。

IPv6 Enabled Logo Programは2つのサブプログラムからなります:

- IPv6 Enabled WWW Logo Program
- IPv6 Enabled ISP Logo Program

インターネット

2.168.10.250/test/ipv6_enabled_index.php

(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

検索 ブックマーク チェック 翻訳 オートフィル

/www.nttdocomo.co.jp/... IPv6 Enabled Program翻...

当サイトについて

当サイトでは日本IPv6認証センターからの情報およびIPv6 Ready Logoに関する情報の提供をしています。

IPv6 Ready Logoに関する情報の日本語環境を提供するために、IPv6 Ready Logo Program(英文)のWebサイトをJATEが必要性が高いものから翻訳しています。

IPv6 Ready Logo Programに関する情報の原本はあくまでも英文サイトであり、翻訳が原因で生じる一切の事象に対してJATEは責任を負いかねますのでご了承ください。

IPv4アドレス枯渇

IPv6 Enabled WWW Logo

Basicレベル

- 概要

  BasicレベルではIPv6 Enabled WWWロゴ仕様書で定義された申請者のWebサイトのIPv6リーチャビリティを確認します。

  スクリプトの実行が成功すると、ロゴIDが割当てられIPv6 Enabled Webページのリストに掲載されます。

- 仕様書(ver.2.0.1)

  原文(英語) 日本語訳(PDF)

  注)IPv6 Enabled Programでは規定されていませんが、次の項目についても確認されることが望ましいといえます。

  - 当該Webページ中に含まれる、他ドメインから取得するコンテンツ(情報)に関してもIPv6による通信によって閲覧可能であること。

- Usage Agreement(対訳形式)
- 申込み方法
  1. IPv6 Enabled Logo WebサイトからIPv6 Enabled WWW検証仕様書をダウンロードする。
  2. オンラインで申込書に記入し、エントリ

IPv6 Enabled ISP Logo

Basicレベル

- 概要

  Basicレベルでは、IPv6 Enabled ISPロゴ仕様書で定義された申請者のIPv6サービスを確認します。

  スクリプトの実行が成功すると、ロゴIDが割当てられIPv6 Enabled ISPのリストに掲載されます。

- 仕様書(ver.1.0.0)

  原文(英語) 日本語訳(PDF)

  注)IPv6 Enabled Programでは規定されていませんが、次の項目についても確認されることが望ましいといえます。

  - サービスに使用するサーバに関して、IPv6インターネット接続環境から利用可能であること。
  - サービスに使用するサーバにメールサーバが含まれる場合には、IPv4、IPv6の双方のユーザ間でメールの送受信が出来ること。
  - サービスの提供にサーバを用いない場合は、サーバへのIPv6インターネット経由での到達性は問わない。

- Usage Agreement(対訳形式)

インターネット

まとめ: ｻｰﾋﾞｽﾛｺﾞWGの活動

青字は今後の予定

1. IPv6 Forumおよび IPv6 Enabled Logo Steering Groupへの提案
   - IPv6 Enabled WWW/ISP Logo がスタート　(2009年6月)
   - WWW/ISP以外のサービス及びISPの拡張規格 (Advanced)を提案予定。

2. 総務省　研究会との連携
   - IPv6 Enabled Logo Program と IPv6 サービス基本指針 の比較・評価を行ない、総務省　研究会へ報告
   - 総務省は、IPv6 サービス基本指針 を公表 (2009年7月)

3. 日本における IPv6 Enabled Logo Program の普及促進
   - JANOG 24にて、IPv6 Enabled Logo を紹介 (2009年9月)
   - IPv6 Enabled Logo の日本語翻訳サイトを スタートし、プレスリリース (2009年9月)
   - 今後、日本語での問い合わせ対応を開始予定

ご清聴
ありがとうございました。